

コード	304010101
記入日	H21.6.8

事務事業途中評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

課コード	112
課名	こども課
課長名	前田喜代美
担当者	岩下礼子

評価対象事業名称	放課後児童クラブ等育成支援事業補助金
----------	--------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040101	事務事業名称	児童福祉総務管理事業費	細目コード	253
関連計画	次世代育成支援地域行動計画			法令・条例規則等	

計画 (PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1) 児童人口		(対象指標1) 3,979人				
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	放課後児童クラブ等育成支援事業補助金交付	*****	*****	*****	補助対象件数2件÷事業実施件数2件	* * * * *
		①	補助金交付件数	2件	100%	平成20年度
		(達成率分析)	前年度、補助基準を満たさず補助対象からはずれていた児童クラブも基準に達し、補助金を交付することができた。			
		*****	*****	*****	保守点検・改修15回÷予定15回	*****
②	保守点検・改修回数	15回	100%	平成20年度		
(達成率分析)	児童公園の保守点検を行い、改修の必要な15箇所を全部改修した。					
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
民間が実施している放課後児童クラブに対して補助金を交付し、小学生の放課後の健全育成に努めている。また、児童公園においては、安全に安心して利用していただけるよう環境整備、安全性の維持管理に努めて、親子のふれあいの場、憩いの場として提供することで子供たちの健全な育成を図る。		*****	*****	*****	利用登録者数18人÷利用申請者数18人	*****
		①	利用登録者数	18人	100%	平成20年度
		(達成率分析)	利用希望者は待機することなく利用できている。			
		*****	*****	*****	公園利用可能日数365÷年間日数365	*****
②	公園利用可能日数	365日	100%	平成20年度		
(達成率分析)	適切な維持管理を行い、年間を通して安全に利用できた。					

実施 (DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	3	3	1	2	2					
	② 箇所	21	21	6	15	15					
成果指標	① 人	36	36	18	18	18					
	② 日	1,461	1,461	1,096	365	365					
総事業費C (A+B)		千円	55,183	55,183	40,452	14,731	14,731				
直接事業費 A		千円	7,583	7,583	4,752	2,831	2,831				
人件費 B		千円	47,600	47,600	35,700	11,900	11,900				
内訳	従事職員数	人	6.8	6.8	5.1	1.7	1.7				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円	1,107	1,107	368	739	739				
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源		千円	54,076	54,076	40,084	13,992	13,992				

コード 304010101

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	次世代育成支援行動計画に基づき行うべき事業である。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	次世代育成支援行動計画に基づき行うべき事業である。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	次世代育成支援行動計画に基づき行うべき事業なので、適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	次世代育成支援行動計画どおり成果をもたらしている。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	放課後の健全育成対策については、今後も教育委員会と連携し協議していく。児童公園においては、維持管理の方向性を決める。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	放課後対策及び児童福祉に影響を及ぼす。
	類似事業との整理統合はできませんか。	● できる ● できない	理由	放課後対策については、それぞれの小学校区の実状を踏まえて、教育委員会と協議する。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	これ以上の削減はできない。
	人件費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	必要最低限の人件費であり、削減できない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	なし

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	次世代育成支援行動計画に基づき行うべき事業である。
		有効性	次世代育成支援行動計画に基づき行うべき事業である。
		効率性	次世代育成支援行動計画に基づき行うべき事業である。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおりに
		有効性	町が定めた次世代育成支援行動計画に基づき、児童の安全・保護・育成のため、本事業を推進すること。
		効率性	補助基準により適正な執行に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
		●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
	●			事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。